

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 29 日 (2015.1.29)

【公開番号】特開 2014-186351 (P2014-186351A)

【公開日】平成 26 年 10 月 2 日 (2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報 2014-054

【出願番号】特願 2014-128513 (P2014-128513)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/30 (2006.01)

H 0 5 B 33/02 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

G 0 9 F 9/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/30

H 0 5 B 33/02

H 0 5 B 33/14 A

G 0 9 F 9/00 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 5 日 (2014.12.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

偏光子と、

延伸された高分子フィルムを含む位相差フィルムと、を含み、

前記高分子フィルムは、脂肪族性ポリマーで延伸配向性を有する主鎖を持ち、260～380nm で吸収端を持つ芳香族基を側鎖に持ち、且つ、主鎖の延びる方向に対して該側鎖の面が交差している高分子量体を主成分とする高分子フィルム（但し、ノルボルネン系フィルムの場合を除く）であり、

前記位相差フィルムは、下記式（1）ないし（3）：

$$0.70 < \text{Re}[450] / \text{Re}[550] < 0.97 \cdots (1)$$

$$1.5 \times 10^{-3} < \Delta n < 6 \times 10^{-3} \cdots (2)$$

$$1.13 < \text{NZ} < 1.50 \cdots (3)$$

（式中、 $\text{Re}[450]$ および $\text{Re}[550]$ は、それぞれ、23 における波長 450nm および 550nm の光で測定した位相差フィルムの面内の位相差値であり、 Δn は位相差フィルムの遅相軸方向、進相軸方向の屈折率を、それぞれ n_x 、 n_y としたときの $n_x - n_y$ である面内複屈折であり、 NZ は n_z を位相差フィルムの厚み方向の屈折率としたときの、厚み方向複屈折である $n_x - n_z$ と面内複屈折である $n_x - n_y$ との比である）を満足する、有機 EL ディスプレイ用反射防止円偏光板。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の有機 EL ディスプレイ用反射防止円偏光板と、有機 EL パネルと、を含み、前記有機 EL ディスプレイ用反射防止円偏光板は、前記有機 EL パネルの視認側に配置された、有機 EL ディスプレイ。